

来年度のより良い活動に向けて意見交換

令和3年度 朝日自然塾連絡協議会

朝日庄内森林生態系保全センターでは、平成18年度より、朝日山地に関係の深い団体と協力し、小中学生の親子等を対象に、朝日山地とその周辺をフィールドとした体験型森林環境プログラムを「朝日自然塾」と銘打って実践しています。

今年度は1つのプログラムが中止になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、1月21日（金）、山形市のあこや会館において朝日自然塾連絡協議会を開催し、関係団体と来年度に向けた活動について協議会を開催しました。



間島森林整備部長の挨拶

当日は大雪の中、関係6団体（出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、山形県内水面漁業協同組合連合会、西川町大井沢支所、大井沢区及び鶴岡市朝日庁舎）と、国有林職員（関係各森林管理署、朝日センター）が出席しました。

開会にあたり、東北森林管理局間島森林整備部長から「当自然塾が森林の中での体験や学びを通して生きる力を育てる場となり、ひいては地域の活性化につながるよう、プログラム策定の議論をいただきたい」と挨拶がありました。

りました。

事務局から、新型コロナウイルス感染症対策を含めた今年度のプログラムの実施状況と中止に至ったプログラムの経緯、来年度のプログラム策定についての基本的な考え方と具体的なプログラム案について説明を行い、各団体の代表者から今年度の実施状況を踏まえた意見や、来年度のプログラム内容に関する具体的な意見などをいただきました。

最後に朝日センター中嶋所長から「本日の会議でいただいた意見等を反映させ、来年度の朝日自然塾の活動をより良いものにしていきたい」と挨拶して、終了となりました。

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター